



い～ねだより

2026年2月4日

認定 NPO 法人じゃんけんぽん

企業主導型保育 い～ね保育園

基本理念

『たくましく生きる力』

保育目標

『自ら感じ考え自分と周りの人を大切にする心を育てます』

『基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに調和のとれた幼児を育てます』

『地域の人とのかかわりやふれあいを大切にし、かけがえのないつながりを創っていきます』

『一人ひとりの子どもを十分に愛し、子どもの個性を受け止め、伸ばしていきます』

2月のテーマ

『冬ならではの発見！』

『異年齢のお友達と関わる中で』

い～ね保育園では0～3歳児の子ども達と一緒に過ごしています。

おやつを一緒に食べたり、朝や夕方の時間一緒に遊んだり、自然と大きい子と小さい子が関わる事が多く、そこがい～ね保育園の良さだと感じています。

日中の活動は活動量に合わせて2、3歳児と0～1歳児と分かれて活動する事が多いのですが、先日は散歩へ行きたい子ども達と室内で遊びたい子に分かれて活動しました。お散歩では1歳児のAちゃんが大きいお友達がしている遊びを真似する、甘えながら遊ぶなど、いつもとは違うお散歩の姿が見られました。2歳児のB君は、疲れて歩くのが嫌になってしまった1歳児のお友達にサッと手を出し、自分から手をつないでくれました。

室内では、2歳児のCちゃんが0歳児のお友達におもちゃを貸してあげながら遊んでくれる姿が見られました。

また、こんな事もありました。お兄さんたちがクリスマス会で披露した大きなかぶの劇をみて「Dちゃんもやりたい！」と。大きいお友達への憧れがあるのですね。後日、小さい子のグループでも劇遊びを楽しみました。

大きい子は、小さい子と関わるなかで優しくしたり、頼ってもらったりすることが嬉しく、自信につながります。小さい子は大きい子の姿をみて、「やってみたい」「真似してみよう」という気持ち芽生え意欲につながる、そして優しくされる事で安心して生活することができます。これからも異年齢の関わりの中で生まれる子ども達の温かなやりとりや思いやり、挑戦する気持ちを見守り、育んでいきたいと思えます。



水道で氷
を発見！

